

ストーリーライン（進行表）

タイトル：【育児講座】3日で子供の集中力と責任感が育つ言葉ゲーム

ZOOM 60分

	テーマ	内容（★実習）	参加者の状態	スライド&ノート
1	オープニング	自己紹介 講座紹介 今日の目当て 受講者の参加理由	管理職の自分にとって、時間がなくても結果が出せそうだと認識。	
2	講義1 信頼のパイプを通す	言葉と行動を一致させることの重要性 ・「責任を取る」と言いながら失敗したら怒るだけ ・「時間を守れ」と言いながら時間にルーズ ・「学びは大切」と言いながらパソコンが苦手、スマホも苦手	自分の言動を振り返り、反省するが、先ずは小さな信頼を勝ち取ろうと一歩踏み出す。	
3	講義2 愛情のパイプを通す	言葉のキャッチボールの重要性 ・facebookで親子関係を良くしてきた、たった1つのアドバイス これが夫の会社での立場を劇的に変えてきた報告多数 ・言葉のキャッチボールとドッジボールの違い ※3日で人間関係が劇的に変化する魔法のワードは本講座で紹介	言葉のキャッチボールが大切だと理解しているし、実際やってきたと考えていたが、それがドッジボールだったと気づき、更に具体的な手段が知りたくなる。	
4	講義3 承認のパイプを通す	相手を認めることの重要性 ・ヒューマンエッセンス簡易版の紹介 ・試しに家庭で使ってみよう ・詳細版のお知らせ	自分は自分のやり方で部下に接していたが、相手の身になっていなかったと猛反省。早速、相手の喜ぶ言葉を使ってみようと決意。	
5	エンディング	過去の参加者の事例 講座案内 ・本講座の開催方法（企業研修） ・本講座を経て部署内で行動計画～目標達成の為のプランニング講座 ・個人のポテンシャルを高める為の月額サロン	意外と安くてビックリ。これならへソクリで受講できるなど嬉しくなる。 サロンも会社の営業費で落とせるぞと入会を決意。	

ストーリーライン（進行表）

（記入例）

タイトル：「問題解決技法」 ZOOM 5.5時間

	テーマ	内容（★実習）	参加者の状態	スライド&ノート
1	オープニング 問題解決とは （50+10休）	①オープニング ・この研修のゴール 問題解決をうながす人に ・ステップ ・グラウンドルール ・ノートの説明 ②ギリシャの偉人たちと、アリストテレス（仮説思考） ③チワワの話、目的論と原因論（事前シート1） ④「問題」「課題」の定義と問題解決基本フレーム（チャンクも） ～適宜★4人組	・さまざまな考え方 ・問題解決の基本知識を理解した	
2	問題解決の基本 （50+10休）	①問題の実例領域・種類 こんな場合、どうしますか・・・ （機械の故障、職場の人間関係、トロッコ問題、新事業開発） ②問題解決（会議）の共通プロセス（共鳴、解決、約束のプロセス） ③その設計「ワンシート企画書」の活用 ④さまざまな手法やフレームワークの紹介（リストアップ） ⑤仮説の蓄積（経営学、心理学、社会学、、、） ～適宜★4人組	・さまざまな「問題」があることを理解 正解は1つでない アプローチも1つでない	
3	受け取る技術 集める力 引き出す力 （80+10休）	①共感的に聴く ～★4人組 テーマを確定するタイミング 解決に向かうタイミング （問題解決基本フレームの復習） ②論理的に聴く 観察する（→デザイン思考の方で） 分析・評価する（→戦略・マーケで） 質問する・ヒアリングする（ワンシート企画書、ビジネスモデル） 板書する（ノートのとり方） ～適宜★4人組	・しっかり聴くことの大切さを理解した 実践したい ・対話を通じて、論理的に整理していくことの大切さ	
4	伝える技術 （80+10休）	①共感的に伝える ストーリーテリング ・思いやり体験のプレゼン ★4人組 ②論理的に伝える ・ケース「課長への提案」★4人組 （問題解決基本フレームの復習） ・スライドでストーリーラインを展開する ～★★グループ研究ごと ③人を育てる、教える技術	・ストーリーラインを設計することが重要 （感情、論理、参加）	
5	巻き込む技術 エンディング （30）	①会議ファシリテーションの基本 講義のみ	・実務に活用できる ・グループ研究に活用できる	

★印が、ブレイクアウト予定（全体の進行スピードに応じて適宜実施） ★★はグループ研究の素材を使って演習したい